

ICE (快適性・安心性評価指標)

Index of Comfortable and Easeful public transportation

やさしく利用できる

指標A	1) オフピーク時車両混雑率 (ピーク後、日中、夜間等)
	2) ピーク時車両混雑率
	3) 段差解消率
	4) 低床バス導入率
指標B	1) エスカレータ・エレベータ処理容量率
	2) 上屋・風除け・空調設置率
	3) 最混雑区間の速度低下率
	4) 乗り心地レベル
	5) ポイント分岐乗り心地
	6) 乗換え・改札遠回り率
	7) 通路・ホーム混雑率
	8) 混雑区間長
	9) 有料着席サービス実施率
	10) ベンチ数
	11) 座席の座りやすさ
	12) 低床路面電車導入率
	13) 施設の配置
	14) 動線の分離

気持ちよく利用できる

指標A	1) 車内快適指標(全自動制御機能を有する冷房装置設置車両率)
	2) トイレの質
指標B	1) 車内騒音
	2) 通路・階段移動速度
	3) 接客態度
	4) 車内・バス停・ベンチのきれいさ
	5) デザインのよさ
	6) マナーの向上
	7) 照明・採光の質
	8) 駅・バス停の騒音
	9) 駅店舗数・来店率

分かりやすく利用できる

指標A	1) ホームでの情報のわかりやすさ(ホームLED設置率)
	2) 駅構内での情報のわかりやすさ(駅構内LED設置率)
	3) 車内での情報のわかりやすさ(車内LED設置率)
指標B	1) 放送・LEDの内容
	2) ルート・時刻情報の提供状況
	3) 輸送障害情報の提供状況
	4) バス接近表示設置率
	5) 案内表示の分かりやすさ
	6) 放送の聞き取りやすさ
	7) 運賃支払いの分かりやすさ
	8) 案内係員配置率
	9) 沿線情報の発信

安心して利用できる

指標A	1) 駅員への連絡しやすさ
	2) 車内での連絡のしやすさ(車内インターホン設置率)
指標B	1) 係員の目の行き届きやすさ
	2) 係員から警察・救急への連絡体制
	3) ホーム転落防止策
	4) 防犯体制の充実度
	5) 専用車・優先席の設定状況
	6) クレームの連絡先表示

指標A：優先的に計測を行う指標

指標B：計測について今後更に検討する指標